

実践記録

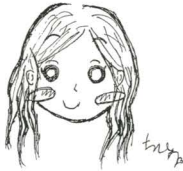
81

シリーズ

そのきこどもマンガ道場 ～めざせ！漫画家～

新潟市曾野木地区公民館
主事 小島 真紀子

作・こどもマンガ道場生

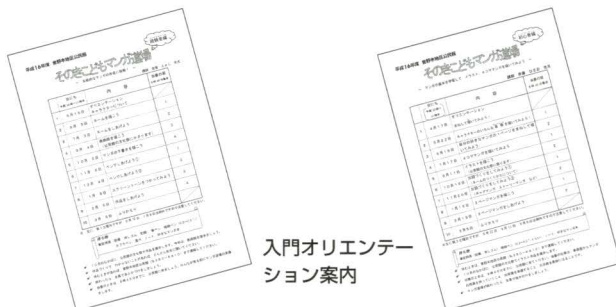


1. はじめに

新潟市曾野木地区公民館では、平成7年度より、第2・4土曜日を休みとする学校週5日制の実施にともない、子どもたちの学校外での活動の場の提供と豊かな人間性を養うために、学校週5日制対応事業として、「こどもマンガ道場」を開設しました。

また、平成14年度からは、学校完全週5日制により、実施回数を増やし、さらに、平成15年度からは、初心者と経験者の2クラスを開設し、それぞれに担当講師を配置しました。

毎年、多くの子どもたちから申し込みがあり、子どもたちのマンガに対する関心の高さがうかがえます。



入門オリエンテーション案内

2. こどもマンガ道場のクラス内容

こどもマンガ道場には、曾野木地区だけではなく市内全域から、多くの子どもたちが通っています。



キャラクターについて、みんなでききる

マンガを読むのは、もちろん大好きで、ストーリーの展開を覚えるほど読み込んでいる子どももいて、驚かされます。

初心者クラスでは、人物や動物の描きかたの学習から始まり、4コママンガやイラストの作成にチャレンジします。最後には、2ページの短いストーリーマンガを描きます。

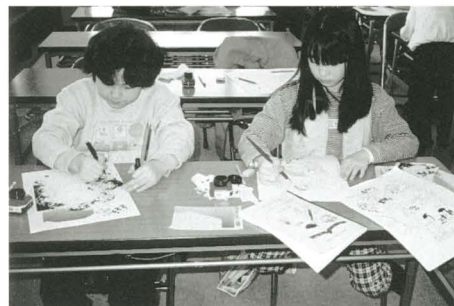
経験者クラスでは、初心者クラスを終了した子ど



平成7年度～15年度までの作品集

もたちを中心に、1年間をかけて、ストーリーマンガの作成に取り組みます。主人公となるキャラクターづくりからはじめ、ストーリーをきめてネーム*を作成し、原稿用紙に描きあげます。

年度末に向けて、2クラス分のストーリーマンガをまとめ、作品集として発行します。内容は、イラストや4コママンガ、ストーリーマンガがあり、盛りだくさんですが、子どもたちが作り出すストーリーには、楽しい発想や展開があり、おもしろいです。道場の最終日、子どもたちに作品集を手渡すとき、子どもたちの目はキラキラしています。手にした作品集を読んで、「来年は、ギャグマンガを描いてみたい!」「○○さんのマンガがおもしろい」など様々な感想がとびかいます。今年は、10年目の節目を迎えていますので、記念になるような作品集にしようと企画中です。どんな作品集ができあがるか、私も楽しみです。



ペんがきが一番大変?!

3. おわりに

マンガは、自分の空想の世界を表現する方法のひとつであると考えます。その子どもたちの自由な発想や創造力を大事にし、マンガとして形にしていくことの楽しさを感じられればよいと思います。また、マンガを描くことを通して、自分が好きなことを追求する姿勢や、最後まで作品を描きあげることの大切さを学んでくれることも願っています。

最後に、新潟市は、多くの漫画家を輩出していることでも有名ですので、今後、未来の漫画家として活躍することも期待しています。

※ネームとは…マンガを原稿用紙に描くまえの設計図